

萩市企業景況調査

DI方式

《調査機関》

萩商工会議所

2019年 7月～ 9月期 実績

2019年 10月～ 12月期 予測

DI (ディフュージョン・インデックス) 方式とは？

DI は各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※設備投資は割合 (%)

消費税増税前の駆け込み需要と反動減の影響が懸念。

景況の概要

2019年10月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率92%)

生産・売上 前期比は製造業と観光関連業が減少、建設業が横ばい、それ以外の業種は増加となった(平均 5.5 ㊦)。前年同期比では建設業が増加、それ以外の業種は減少となった(平均▲18.2 ㊦)。今後(10～12月期)の見通しでは、卸売業と小売業が減少、建設業が横ばい、それ以外の業種は増加すると予測(平均 3.6 ㊦)。

収益 前期比は、建設業と小売業が横ばい、それ以外の業種は減少(平均▲14.5 ㊦)。前年同期比は、建設業が増加、それ以外の業種は減少(平均▲16.4 ㊦)。今後(10～12月期)の見通しでは、建設業・卸売業・観光関連業が横ばいと予測し、製造業・小売業・サービス業は減少と予測(平均▲7.3 ㊦)。

資金繰り 前期比は、製造業と小売業が好転、サービス業が横ばい、それ以外の業種は悪化(平均▲9.3 ㊦)。今後の見通しでは、サービスが横ばい、それ以外の業種は悪化と予測(平均▲16.7 ㊦)。

従業員数 全業種との人員不足という結果になった(平均 41.8 ㊦)。

経営上の問題点 ①需要の停滞・人材の確保難 33.3% ②人件費等経費の増加・仕入価格の上昇 9.3% ③設備・店舗の老朽化 5.6%の順となった。

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、全業種とも停滞と予測。特に観光関連業が▲90.0 ㊦と停滞指数が大きい。

景況に関する生の声 ■消費税増税による景気の動向が懸念(住宅建築)。■人材不足が深刻(木製品製造、機械製造、水産卸)。■水揚げ量が少なく、他地区への買い付けでしのいでいる(海産物加工)。■キャッシュレス事業に参加し、売上確保に取り組んでいる(大型店)。■増税前の駆け込み需要で売上増加(大型店、専門品店)。■7月は梅雨明け遅れの影響で夏物関連が大幅にマイナス。8月は台風による天候不順で売上が伸び悩む(大型店)。■剣先イカの不漁が続いているため、料理が大変不便(飲食業)。■客数増加があるも継続しない。観光コースが「萩・津和野」から「萩・長門」に変化(特産品販売)。

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	0.0	▲22.2	12.5	55.6	22.2	▲30.0	5.5	▲7.1	20.0
	前年同期比	20.0	▲11.1	▲37.5	▲22.2	▲11.1	▲50.0	▲18.2	▲26.8	▲5.5
	2019年10月～12月期見通し	0.0	44.4	▲12.5	▲44.4	11.1	20.0	3.6	23.2	29.1
収益	前期比	0.0	▲11.1	▲37.5	0.0	▲11.1	▲30.0	▲14.5	▲16.1	0.0
	前年同期比	20.0	▲22.2	▲12.5	▲22.2	▲11.1	▲50.0	▲16.4	▲35.7	▲5.5
	2019年10月～12月期見通し	0.0	▲11.1	0.0	▲22.2	▲11.1	0.0	▲7.3	8.9	7.3
資金繰り	前期比	▲20.0	11.1	▲37.5	12.5	0.0	▲20.0	▲9.3	▲10.7	0.0
	2019年10月～12月期見通し	▲20.0	▲22.2	▲12.5	▲25.0	0.0	▲20.0	▲16.7	▲7.1	7.3
従業員数 2019年9月末		80.0	22.2	25.0	33.3	33.3	50.0	41.8	33.9	40.0
設備投資	(実績)	33.3	44.4	25.0	55.6	33.3	20.0	35.2	21.4	25.5
	(計画)	20.0	37.5	37.5	44.4	25.0	0.0	26.4	21.8	23.6
業界動向		▲50.0	▲33.3	▲14.3	▲88.9	▲44.4	▲90.0	▲55.6	▲41.8	▲16.4